

平成 28 年度仙台市図書館事業報告書

(仙台市図書館振興計画に基づく事業の実施状況)

平成 29 年 11 月

教育局市民図書館

目 次

総括 1

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館

(1) 課題解決に取り組む市民を応援します 2
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】
【レファレンス機能の充実】
【課題解決型情報支援サービスの充実】
【地域の専門機関との連携】

(2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を進めます 5
【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】
【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】
【様々なネットワークへの参加・連携】

(3) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます 6
【地域情報の蓄積・継承・発信】
【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】

(4) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます 7
【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

方向性 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

(1) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします 8
【高齢者サービスの充実】
【障害のある人へのサービスの充実】
【外国人が使いやすいサービスの充実】

(2) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします 10
【市民センターでの図書サービスの拡充】
【移動図書館サービスの再編・整理】

方向性 3 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- (1) 子どもの年齢に応じた図書サービスを提供します 11
 - 【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】
 - 【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】
- (2) 障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します 13
 - 【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】
 - 【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】
- (3) 子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます 14
 - 【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】
 - 【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーターの育成】
- (4) 子ども読書を進めるために家庭、地域、学校などとの連携を深めます 15
 - 【学校との連携の強化、協働による事業の充実】
 - 【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】
 - 【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

方向性 4 自らの変革を進める図書館

- (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います 18
 - 【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】
- (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます 19
 - 【図書館サービスの広報、図書館像の共有】
 - 【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】
- (3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します 20
 - 【システムやサービスのあり方の見直し】
 - 【ICタグの計画的な導入】
- (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います 20
 - 【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】
- (5) 図書館職員の資質の向上に努めます 21
 - 【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】
 - 【専門性と経営能力を備えた職員の養成】

総括

平成 28 年度に実施した事業を、「仙台市図書館振興計画」に掲げた 4 つの方向性に沿ってまとめた。それぞれの施策については充実した取り組みができており、図書館の利用者や各企画への参加者には満足いただけたと考えている。一方で、利用者層そのものを広げる取り組みが行き届かず、利用者数は各館毎に増減があるが、全体的には横ばいあるいはやや減少という状況である。全国的にも図書館の利用者数はさほど伸びていない中ではあるが、これまでの取り組みを継続しながらも、今後の課題として、さらに受け手や読み手を広げていくことが必要と考えている。

◆仙台市図書館協議会の意見◆

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館

- ・各図書館で実施する企画は同時開催や巡回開催など、連携した取り組みを行っていただきたい。
- ・震災関連の資料活用については、学校や地域との連携や、本を活用したワークショップの実施、せんだい 3.11 メモリアル交流館の活用などを検討いただきたい。
- ・仙台のプロスポーツ 3 チームを盛り上げる工夫を継続していただきたい。

方向性 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- ・シニア世代だけでなく、世代を超えて理解し合えるような企画や取り組みを行っていただきたい。
- ・高齢者、障害者、外国人等のニーズの把握に努めていただきたい。

方向性 3 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- ・図書館で発行するパンフレット等に魅力的なデザインを取り入れるなど、子ども達が興味を持つ工夫をしていただきたい。
- ・より多くの小学校で学習の一環として図書館を訪問できるよう、働きかけを行っていただきたい。
- ・教員のブックトークの技能向上を図るため、夏休みの機会等に教員向けの講座を開くことや、手本となる動画などブックトークの手法を学ぶための支援策について検討していただきたい。
- ・中高生に対して、スマートフォンや SNS を活用した情報発信を検討し、活用には、図書館に興味がなくとも情報が届くよう工夫した情報発信を行っていただきたい。

方向性 4 自らの変革を進める図書館

- ・イメージキャラクターを有効に活用するなど、図書館の情報発信を進めていただきたい。
- ・図書館職員への研修を通じて、コミュニケーション能力をはじめとしたスキルアップを図っていただきたい。

施策

(1) 課題解決に取り組む市民を応援します

平成28年度実施状況

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集保存提供】

・ 全国的な図書館利用動向や本市における傾向などを踏まえた、高齢者や障害者なども含めたすべての利用者にとって、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	平成27年度	平成28年度
資料受入数(冊・点)	80,531	81,106
蔵書数(冊・点)	2,019,540	2,050,182
個人利用者数(人)	1,363,553	1,323,832
個人貸出数(冊・点)	4,262,020	4,149,826

※図書館で実施した講座等の資料も、受け入れ可能なものは閲覧できるよう整備に努めた。

- ・ 図書館資料(一般書、児童書、視聴覚資料)を紹介する刊行物を発行した。
 - * 一般向け図書案内 : 「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」 「あなたのおすすめ本を教えてください」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」 「Choice of Books」(太白) 「本のいづみ」(泉) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉)
 - * 児童図書案内 : 「BOOK TREE」 「あかちゃん楽しむはじめての絵本」 他に各館でテーマ別図書案内等 12 種類
 - * 中高生向け図書案内 : 「YAnews」(広瀬) 「選書アドバイザーのおすすめ本」(広瀬) 「Ouintet～私たちの好きな本」(榴岡) 「YA 通信 すばろーずペーパー」(泉)
 - * 新着 AV 資料案内 : 「AV 新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
 - * 広報紙等 : 「郷土のかぜ」(市民) 「図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「映画のハナシ」(若林) 「てとてといづみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
- ・ 毎月のテーマ別資料展示のほか、その時々話題の本について様々な展示を実施し、利用促進に努めた。
 - * 毎月のテーマ展示を行う他、随時話題の資料の展示コーナーを設け、資料選びの参考となるよう配慮した。(全館)
 - * 「追悼コーナー」「直木賞受賞コーナー」「ノーベル賞受賞コーナー」等を、報道後迅速に設置した。(全館)
 - * G7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議関連展示を実施した(全館)
 - * 春と秋の子ども読書フェスティバル期間中にテーマ別展示を行った(全館)

平成28年度実施状況(続き)

(各館の事例)

- * メディアテークオープンスクエアを会場に「ちょっと手が届きにくい本」等のテーマによる展示「スクエア図書館」を実施した。(市民)
 - * 朝の連続ドラマに関連した雑誌「暮らしの手帖」創刊号～100号までの展示を実施した。(市民、若林)
 - * 広瀬図書館祭りで、特別展示「読書会の本棚」を実施した。(広瀬)
 - * 様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、太白)
 - * AV 資料についても、毎月のテーマ展示や時事に関する展示を行うとともに、上映会を実施した。(広瀬、宮城野、若林、太白、泉)
 - * 開館4周年事業として職員の「おすすめ本」の展示を行い、併せて冊子も配布した。(宮城野)
 - * 「あなたのおすすめ本をおしえてください」のアンケートと展示を実施した(榴岡)
 - * CRS 関連資料コーナーを設置し、仙台市内等の企業や団体についての情報を提供した。(若林)
 - * いたばしボローニャ子ども絵本館所蔵の外国語絵本の展示を行った。(若林)
 - * 七郷中学校図書委員のおすすめ本を紹介文とともに展示した。(若林)
 - * 読書週間に合わせて「私のおすすめ本」展示を実施した(泉)
 - * 省エネルギーや再生可能エネルギー関連の資料コーナーを常設し、利用者への啓発を行った。(太白)
 - * 展示テーマに合わせた書籍リストを作成し、利用者への情報提供を行った。(太白)
- ・ 東日本大震災関連資料や情報の継続的収集、3.11 震災文庫及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。
※平成28年度末現在 3.11 震災文庫資料収集数 10,324 点(平成27年度末 8,352 点)

(各館の事例)

- * 平成28年3月11日現在の「3.11 震災文庫」の目録を作成した。(市民)
- * 震災から6年を迎え、震災関連資料の展示を行った。(市民、宮城野、榴岡、太白、泉)
- * 「防災おはなし会」を実施した。(市民、泉、榴岡)
- * 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称ひなぎく)に、「3.11 震災文庫」に受け入れた図書等の書誌情報を追加更新した。(市民)
- * 被災地応援のDVD 上映会『育子からの手紙』、『千の風になって』を開催した。(宮城野)

【レファレンス機能の充実】

- ・ 社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うなど、レファレンス機能の充実に努めた。
※平成28年度レファレンス件数 57,101 件、(平成27年度 63,509 件)
 - * 国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の申請を行い、サービスを開始した。(市民)
 - * 国立国会図書館のレファレンス共同データベースにレファレンス事例の登録を行った。(全館)
 - * パスファインダーの作成と配置を継続して行った。(全館)
- ### (各館の事例)
- * パスファインダー『相続について調べる』の作成にあたり、各区役所の担当窓口のほか法テラス等専門機関を紹介し、相続に関する情報を様々な角度から盛り込むことで、資料の紹介だけに終わらない仕上がりにすることができた。
(宮城野)

平成28年度実施状況(続き)

- * レファレンス資料の見直しを行い、出版年の古いレファレンス資料の更新を行った。(宮城野)
- * 地名辞典をはじめ、広い分野において参考図書を受入するなどレファレンスツールの充実を図った。(若林)
- * 専用パンフレットラックに、すべてのパスファインダー(全25種類)を配架し、レファレンスサービスの周知を図った。
(市民、宮城野)

【課題解決型情報支援サービスの充実】

- ・ 図書館ホームページにて、定期的な行事・新着資料・テーマ別リスト等、図書館関連情報を随時更新するとともに、イベント情報の掲載や、利用者向けの多様なお知らせのアナウンスを行い、最新情報の周知を図った。
- ・ 図書館ホームページのYA 中高生のページに、随時新しい内容を掲載し、中高生の課題解決に役立つ情報を発信した。
- ・ 仙台市メール配信サービスにて、定例行事・イベント・お知らせ等の情報発信を行った。

【地域の専門機関との連携】

- ・ 地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信に努めた。

(各館の事例)

- * 仙台市博物館との連携講座「歴史のくものがたり」と仙台」を実施した。(市民、宮城野、若林、泉)
- * 地域の産業廃棄物処理会社と連携し、講演会を行った。(広瀬)
- * 仙台市天文台と連携し、「子ども天文教室」を開催した。(広瀬)
- * 前年度までに実施した企業連携事業の取り組みを紹介する「地元企業×広瀬図書館」パネル展示を行った。(広瀬)
- * パスファインダー『相続』で他団体(区役所の担当部署や法テラス)を紹介した。(宮城野)
- * 仙台文学館の展示で取り上げた作家の関連資料による特別展示を行った。(宮城野)
- * 宮城県視覚障害者情報センターより講師を迎えて講演会を開催した。(宮城野)
- * 歴史民俗資料館との連携講座「鉄道と木」を開催した。(榴岡)
- * 東北ゴールデンエンジェルズメンバーによる「スポーツ講演会」を開催した。(若林)
- * 富沢遺跡保存館と連携し、同施設でのテーマ展示に関連した図書館資料の展示を行った。(太白)
- * 仙台市体育館(カメイアリーナ仙台)と連携し、健康づくり講座「椅子ヨガでぽかぽか肩こり改善」を開催した。(太白)
- * 健康福祉局南部発達相談支援センター(南部アーチル)と連携して市民講座「発達障害について」を開催し、関連資料の展示・紹介、及び蔵書リストの配布を行った。(太白)
- * 教育委員会文化財課と連携して市民講座「城下町仙台と奥州街道」を開催し、関連資料の展示・紹介、及び蔵書リストの配布を行った。(太白)
- * 日本政策金融公庫との共催で創業支援セミナーを行い、関連するパネルや図書資料を展示した。(泉)
- * 仙台市天文台と連携し、秋の天文講演会「星に願いを」を開催した(泉)
- * 八木山動物公園(仙台市 セルコホーム ズーパラダイス)に図書館専用のパンフレットラックを配置し、各館のイベントの広報を行った。

施策 (2) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を進めます

平成28年度実施状況

【電子情報の整備・充実 デジタル環境への対応】

- ・ 商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。
 ※平成28年度利用者向け商用データベース 6種類(平成27年度6種類)
 利用件数 596件(平成27年度 609件)
- ・ 図書館内のインターネット環境の整備に向け検討を進めた。
- ・ 市民図書館の郷土資料コーナーに電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。 ※平成28年度利用件数 21件(平成27年度 14件)
- ・ 情報機器の活用についての講座等を行った。
 (各館の事例)
 - * 地域のモバイルショップと連携し、仙台市図書館ホームページでの資料検索演習等を内容とする「タブレット体験教室」を実施した。(広瀬)
 - * 図書館職員による「河北新報データベースガイダンス」の実施日を月例で設定し、参加希望があった場合、基本的な使い方や便利機能に関する説明を行った。(広瀬)
 - * 「情報リテラシー支援講座」を開催し、タブレット型 PC 体験を通して情報端末による課題解決を体験する機会を提供した。(若林)
 - * 「大人のための太白図書館バックヤードツアー」を実施し、館内 OPAC の使い方の説明や商用データベースの紹介などを行った。(太白)
 - * 「図書館活用講座～もつとできる情報検索～」を実施し、館内 OPAC や商用データベースを使った情報検索方法、仙台市図書館ホームページの便利な使い方の説明などを通して、各種端末機器による課題解決を体験できる機会を提供した。(太白)

【紙媒体と電子媒体との両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】

- ・ ホームページにレファレンス事例集及びパスファインダーを継続して掲載し、図書館活用方法の周知に努めた。

【様々なネットワークへの参加・連携】

- ・ レファレンス共同データベースへの事例登録を継続して参加した。
- ・ 市民図書館でサービスを開始した国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に、次年度は全館でサービスを開始する予定となっている。

施策 (3) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

平成28年度実施状況

【地域情報の蓄積・継承・発信】

- ・ 図書、逐次刊行物、行政資料のほか映像資料も含め多様な地域資料の収集に努めた。

※平成28年度郷土資料受入数 2,557冊(平成27年度 2,293冊)

(各館の事例)

- * 仙台市を中心とした旧仙台領の地域及び関係の深い地域の資料、同地域の出身者・在住者に関する資料等約47,000点を揃え、専門のコーナーで利用に供している。(市民)
- * 地域にまつわる記憶や思い出を収集、保存、共有する「思い出アーカイブ」を継続して実施し、新たに1作品を加えたほか、作並小学校で毎年作成する「山びこ文集」を継続的に掲載していくための調整を行った。(広瀬)
- * 郷土資料の収集及び欠損している資料の補充を行い、郷土資料の充実を図った。(宮城野)
- * 同一書架に配架されていた郷土資料と行政資料を分離・整備することで利用しやすくした。(宮城野)
- * 郷土資料コーナーに古地図を掲示、また閲覧用資料を用意し、郷土資料の充実を図った。(若林)
- * 図書館だよりに、仙台に関するコラム「せんだい歳時記」を連載し、郷土情報を発信した。(若林)
- * 地元ゆかりの島崎藤村に関する「藤村コーナー」を新設し、関連資料の展示や紹介を行った。3月には地元住人を講師に迎え、「藤村文学は名掛丁からはじまった」と題して講座を開催した。(榴岡)

【市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信】

- ・ 市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。

※平成28年度寄贈による郷土資料受け入れ数 1,760冊(平成27年度 1,548冊)

(各館の事例)

- * 地域資料の紹介や市民研究者からの寄稿を掲載した郷土資料コーナーの情報紙「郷土のかぜ」を発行した。(市民)
- * メディアテークを会場に「とぶらす・ウィーク2016」(市民活動団体と協働で取り組む展示、トークイベント、おはなし会、体験型イベント等)を実施した(市民)
- * 仙台・宮城に関する本のテーマ展示「仙台で暮らす」を実施した。(広瀬、宮城野)
- * 野球関連の図書や雑誌の配架を移動し、「東北楽天イーグルス応援コーナー」の充実を図った。(宮城野)
- * 仙台駅に近いことから、旅行者の来館に備え、仙台観光国際協会等から提供を受けた仙台の観光パンフレットを常備し、仙台のまちを紹介できるようにした。(榴岡)
- * イメージキャラクターを公募し、広報物や展示に活用して図書館をアピールした。(若林)
- * 図書館だよりにリレーエッセイ「図書館とわたし」のページを設け、地域の文字・活字文化の継承を図った。(若林)
- * 上映会開催時に掲示板を設置し、上映作品の感想やメッセージ等の交流の場を設けた。(若林)
- * 東北ゴールデンエンジェルズメンバーによる「スポーツ講演会」を開催した。(若林)
- * NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台所蔵資料を借り受け、仙台七夕に関する展示を開催した。(若林)
- * 仙台東部復興市民会議と連携し、もちを題材にしたおはなし会「もちつきおはなし会」を開催した。(若林)
- * 「仙台 89ERS 展示コーナー」を引き続き設置した。(太白)
- * 地元長町の無料タウン情報誌「NEXT」を展示・配布した。(太白)
- * 「ベガルタ仙台展示コーナー」の展示を拡充するとともに、サッカー関連資料や試合結果を継続して展示し、試合による交通規制情報も案内した。(泉)

施策 (4) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます

平成28年度実施状況

【市内大学図書館との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

- ・ 学都仙台 OPAC に継続して参加した。
 - ※平成28年度市内大学図書館への紹介状発行件数2件(平成27年度10件)
- ・ 宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施している。
 - ※平成28年度実績 貸出0冊 借受6冊
- ・ 市内の大学等と協力した取り組みの実施に務めた。

(各館の事例)

 - * インターシップの学生を受け入れ、図書館学を学ぶ学生の養成に協力した。(市民)
 - * 国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、児童向け科学工作会や「英語多読教室」を開催した。(広瀬)
 - * 8月から9月にかけて、宮城学院女子大学の学生を対象に職場体験を実施し、職業選択の支援を行った。(榴岡)
 - * 仙台青葉短期大学の日本語表現法の講師として職員を派遣した。(榴岡)
 - * 国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスの「高専祭」に参加して、広瀬キャンパス図書館との共催による「古本市」を開催し、相互の利用促進に繋げた。(広瀬)
 - * 大学のビブリオバトルサークル所属学生の参加による「ビブリオバトル」を開催した。(若林)

方向性1 についての課題・改善策

【地域資料の蓄積・継承・発信】

- ・ 一般の流通では入手できない資料、逐次刊行物の特集記事、映像資料等も含めた幅広い資料を継続的に収集し、併せて情報紙の発行やホームページでの発信を拡充していく。

【震災関連資料の活用】

- ・ 継続的に収集している「3.11震災文庫」の資料が、広く市民に読み継がれるための取り組みを実施していく。

【電子情報の整備、デジタル環境への対応】

- ・ ホームページの充実、Wi-Fi環境の整備、電子資料の調査、各種ネットワークへの参加等、状況に応じた取り組みの実現に向けて調整を進めていく。

【様々な機関との連携によるレファレンス機能の強化】

- ・ 人的ネットワークを含め大学をはじめ専門機関との関係を構築し、市民ニーズに応えられる情報の収集と編集に努めていく。

施策 (1) 誰もが利用しやすい図書館サービスをめざします

平成28年度実施状況

【高齢者サービスの充実】

- ・ 大活字文化普及協会への会員登録を継続し、同協会発行の大活字本の収集を行うとともに、集中選書会議で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、全館で資料の充実を図った。

※平成28年度末大活字本受入数 386冊(平成27年度403冊)

※平成28年度末大活字本蔵書数 8,738冊(平成27年度末8,369冊)

- ・ 高齢者の関心の高い分野をテーマとした資料展示や行事を実施した。

(各館の事例)

- * 「充実のセカンドライフコーナー」(市民) 「医療情報コーナー」(太白) 「ユニバーサルコーナー」(泉) 「ベターエイジングのすすめ」(広瀬)を継続的に設置し、随時新刊本を追加して資料の充実を図り、高齢者に向けた資料提供に努めた。
- * 高齢者向けの落語会と子ども向け落語体験ワークショップを同日開催し、世代間交流の場も提供できるイベントを開催した。(広瀬)
- * シニア世代も楽しめる映画上映会を開催した。(宮城野、若林、太白)
- * 高齢者のニーズに対応し、映像資料を簡単にジャンル分けした目録をカウンターに備え付けた。(榴岡)
- * 活字の小さい文庫について、随時大きい活字の文庫へ買い替えた。(太白)
- * 高齢者にも関心が高い分野(皇室・認知症等)をテーマとした資料展示やシニア向けの資料展示を行った。(太白、広瀬)
- * 歴史講座「城下町仙台と奥州街道」や健康づくり講座「椅子ヨガでぽかぽか肩こり改善」を開催した。(太白)
- * 施設見学等で拡大読書器の使い方等を説明した。(太白図書館)
- * 市民センター主催の老壮大学「図書館を楽しむ」に講師として職員を派遣した。(若林)

【障害のある人へのサービスの充実】

- ・ 心身に障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。

※平成28年度郵送貸出延利用者数 3,563人(平成27年度3,339人)

※平成28年度郵送貸出数 8,695冊・点(平成27年度8,585冊)

- ・ 視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。

※平成28年度対面朗読件数 134回(平成27年度108回) (メディアテーク分を除く)

* 太白図書館が担当し、福祉プラザを会場に対面朗読ボランティアスキルアップ講座を開催した。

- ・ 全館に拡大読書器、筆談ボードを設置したほか、障害者への配慮に努めた。

(各館の事例)

- * 杖ホルダー付き肘掛椅子を設置した。(市民)
- * 音声読書器を継続して設置した。(宮城野)
- * 車椅子優先の閲覧席を設け、障害者も使いやすい読書環境の維持を図った。(若林)
- * お絵描きボードを設置(1階)、指差しボードを設置(1階・2階)(泉)

平成28年度実施状況(続き)

- ・ 障害者サービスを紹介した案内リーフレット(点字版を含む)を各館内のほか区役所の障害者サービス窓口や関係団体等で配布した。
- ・ 5地区館が日本点字図書館(サピエ図書館)に施設登録し、利用者へのデイジー(DAISY)資料の貸出を継続して行うとともに、館内へのポスター掲示により広報した。
 - * 宮城野図書館が担当し、視覚障害者へのデイジー資料(録音図書)を作成した(デイジー資料 222点)
- ・ 障害者サービスに配慮した行事を開催したほか、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報に務めた。

(各館の事例)

- * 精神的な障害のある方の就労実習の受け入れを行った。(市民、宮城野)
- * メディアテーク全館で実施したイベントで、手話による絵本の読み聞かせを行った。(市民)
- * 定例おはなし会において、絵本の読み聞かせを手話付きで試みた。(市民)
- * 「視覚障害者の読書環境について」というテーマで講演会を開催した。(宮城野)
- * ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作の支援を引き続き行い、仕上がった拡大写本を受け入れし、利用に供した(拡大写本 2点完成)。(宮城野図書館)
- * 仙台朗読奉仕の会の協力のもと、「たいせつ」をテーマに、大人のための朗読会を昨年度に引き続き実施した。今年度は視覚障害者の方も、介助者とともに参加された。(榴岡)
- * 視覚障害者や、聴覚の衰えが気になる利用者にも聞こえやすいスピーカーを使用し、プロのアナウンサーとアーティストによる朗読コンサートを開催した。(若林)
- * 障害者サービス関連団体等からの依頼を受け、郵送サービスの説明と利用登録を行った。(若林)
- * 障害者関連施設等を訪問するなどして、障害者の方や支援者にヒアリングを行い、課題や解決方策案について検討した。(太白)

【外国人が使いやすいサービスの充実】

- ・ 選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料の充実を図った。
 - ※平成28年度外国語資料受入数 86冊(平成27年度64冊)
 - ※平成28年度末外国語資料蔵書数 4,795冊(平成27年度 4,732冊)
- ・ 外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布した。
 - * 新聞書架に、英字新聞が1日遅れで配架される旨の説明文を英語で掲示した。(太白図書館)

施策 (2) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします

平成28年度実施状況

【市民センターでの図書サービスの拡充】

- ・ 市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。

(各館の事例)

- * 鶴ヶ谷市民センター(宮城野)
- * 若林中央市民センター、若林市民センター(若林)
- * 富沢市民センター、田子市民センター(榴岡)
- * 松森市民センター(泉)

- ・ 市民センターとの連携による図書館サービス拡充方策について、関係部署との検討・協議を行った。

【移動図書館サービスの再編・整理】

- ・ 利用者からの巡回要望の意見や利用状況を考慮し、巡回コース及び開設時間の調整・変更を行った。

方向性2 についての 課題・改善策等

【ユニバーサルサービスに向けた取り組み】

- ・ 高齢者、障害者、外国人等のニーズ把握のための調査や研修等に努め、職員のスキルアップを図るとともにコミュニケーション能力を培うための取り組みが必要となっている。

【市民センターでの図書サービスの拡充】

- ・ 図書館から遠い地域の市民にもサービスが届くための施策として、市民センターとの連携による図書館サービス拡充方策について関係部署とのさらなる協議・検討を行う。

施策	(1) 子どもの年齢に応じた図書サービスを提供します
----	----------------------------

平成28年度実施状況

【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

- ・ 各種おはなし会を拡充しながら継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。

【乳幼児向けおはなし会】

※平成28年度実施回数:162回(平成27年度 157回) 参加者数:3,598人(平成27年度 3,726人)

【幼児向けおはなし会】(幼児～小学校低学年対象)

※平成28年度実施回数:495回(平成27年度 429回) 参加者数:8,107人(平成27年度 7,679人)

【「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうたの会」など、乳幼児及び保護者向けの行事】

※平成28年度実施回数:16回(平成27年度 19回) 参加者数:352人(平成27年度 417人)

- ・ 平成27年度に作成した乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を、平成28年4月より配布するとともに図書館ホームページ掲載した。また、平成29年2月に改訂版を作成し、3月より配布を開始した。 ※配布先:各区家庭健康課、各のびすく、書店組合等
- ・ 生涯学習課が主催する仙台市子ども読書活動推進会議に参加し、関連部署との意見交換や情報交換等を行った。

(各館の事例)

- * 毎月第4水曜日に「あかちゃんタイム」を継続して実施し、おはなし会や絵本等を通した赤ちゃんや保護者のふれ合いの場を提供した。(市民)
- * おはなし会ノートを配布し、継続した参加を促した。(市民、宮城野、榴岡、若林、太白)
- * 0から1歳半くらいまでの乳幼児と保護者を対象に、「はじめよう！ベビーサイン」を継続して実施した。(広瀬)
- * 宮城野区中央市民センターが主催する「ウェルカムひろば」に参加して宮城野区へ転入してきた乳幼児の親子連れに読み聞かせを行い、図書館の広報案内を行った。(宮城野)
- * 地域のコミュニティセンターに出向き、絵本選びの方法についての講演とおはなし会を行った。(若林)
- * 「ぬいぐるみおとまり会」を開催し、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえる機会を提供した。(若林)
- * 近隣児童館、子ども園での読み聞かせと月齢に応じた絵本の選び方を提案した。(若林)
- * 若林区家庭健康課や子育てサークルが主催する親子サロンに参加し、読み聞かせと図書館広報を行った。(若林)
- * 乳幼児向けおはなし会で「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」で紹介した絵本やわらべうたを取り上げ、ブックリストの使い方や親子のふれ合いのすすめなどを話しながら紹介した。(子供図書室)
- * 子育て支援通信「てとてといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(子供図書室)

【小学生、中学生、高校生等年齢に応じた読書支援サービスの拡大】

- ・ 図書館ホームページ内に開設した中高生向けコンテンツの更新を随時行い、コーナーを充実させた。
- ・ 中高生向けコンテンツ内に各図書館で投稿された本の感想用紙を掲載するコーナーを設置した。
- ・ 小学校及び中学校の新1年生向け図書館利用案内を作成し、学校を通して市内全児童・生徒に配布した。
 - ※小学校新1年生向け図書館利用案内「としかんへいこう！」 配布校数 134校 配布枚数 9,915枚
 - ※「ようこそシール」 697枚
 - ※中学校新1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 配布校数 80校 配布枚数 9,915枚

平成28年度実施状況(続き)

- ・ 高等学校新1年生向け図書館利用案内を作成し、市内全高等学校に配布した。
※高等学校新1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 配布校数 46校 配布枚数 12,396枚
- ・ 小学生向けにはおはなし会や工作教室、ブックトーク、一日図書館員、映画会、中高生向けには本の紹介やビブリオバトル、ボランティア体験等、子ども達が参加したり図書館員と交流できる様々な読書支援サービスを行った。ビブリオバトルは、初心者でも気軽に体験できるよう工夫して行った。
- ・ 子供図書室で、中高生向けの図書資料や行事を紹介する「YA通信」を発行し、全市立中学校及び高等学校等に配布するなど情報発信に努めた。
- ・ 職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。

(各館の事例)

- * 高等学校に向けた学校貸出サービスの試行を開始した。(市民・泉)
- * 高校生が選書やプログラム作成、進行を務める「高校生による読み聞かせの会(幼児向け)」を実施した。(市民)
- * 中高生のボランティア(選書アドバイザー、選書サポーター)による中高生向けの本の選書やブックリストの作成を通して、中高生に対するおすすめの本の紹介などの情報発信を継続して行った。(広瀬、榴岡)
- * 選書アドバイザーのおすすめ本を中心とするテーマ展示「選書アドバイザー's choice」を実施した。(広瀬)
- * 中高生のおすすめの本の投稿ボックスを設置し、館によっては館内(YAコーナー)へ掲示を行った。(全館)
- * 新1年生向け図書館利用案内に掲載したおすすめ本の展示を行った。(宮城野)
- * YA席数を増やすなど、中高生が利用しやすい環境を整えた。(宮城野)
- * 施設管理者である宮城野区文化センターの協力を得て、図書館のある地下以外のフロアでもYAのおすすめ本の掲示を行った。(宮城野)
- * 中高生向けに、学校生活や家族などについてのテーマ展示を行った。(宮城野)
- * 選書サポーターを中高生から募り、冊子「Quintet～私たちの好きな本～」を作成した。冊子は市内中学校に配布し、同世代の中学生に読書の楽しみをアピールした。(榴岡)
- * 本や図書館に関するクイズを通して理解を深める「図書館たんけんクイズ」を開催した。(若林)
- * 世界の絵本展「絵本でめぐる世界」を開催し、諸外国の文化に触れる機会を提供した。(若林)
- * 日本の伝統的な遊びを通して地域文化に親しむ「手まりうたであそぼう」を開催した。(若林)
- * 児童書への関心を高めるために「ミステリークエスト」を開催した。(若林)
- * 借りた本によるビンゴゲームを通して、広い分野の資料に触れる「読書ビンゴ」を開催した。(若林)
- * 中学校図書委員によるおすすめ本の展示会を実施し、同年代への読書活動推進を図った。(若林)
- * 夏休み期間に「宿題お助け隊」を開催し、図書館資料のアピールと利用促進を図った。(若林)
- * 夏休み期間に「図書館まつり」を開催し、おはなし会の演者体験、写真へ落書きを加えて作品を完成させる事業を実施した。(若林)
- * のびすく泉中央との連携で、中高生ビブリオバトル「やってみよう！ビブリオバトル2016」を開催した。(泉)
- * 中高生ボランティア(泉図書館YA委員会)による選書や展示「本棚をプロデュースしよう！2016」を実施した。(泉)
- * 子ども映画上映会を開催した。(全館)

施策 (2) 障害のある子どもの状況に合った図書サービスを提供します

平成28年度実施状況

【障害のある子どもたちの読書を助ける資料の収集、機器の設置】

- ・ 泉図書館子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ、各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集に努めた。
- ・ 各図書館で触る絵本等の関連資料所蔵リストの配布と、ホームページ等での公開を継続して行った。
- ・ 子供図書室にマルチメディアデイスリー(DAISY)利用のための機器を継続して設置し利用に供するとともに、利用促進に向けて、小学校及び中学校全体説明会等で周知・広報を行った。
- ・ 市民図書館とメディアテークの連携事業で、手話を使った「手ではなすおはなしの会」を実施した。

【市内特別支援学校等への資料貸出の充実】

- ・ 特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。
- ・ 特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布し、資料提供を行った。また、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際、チラシの配布を行い広報に努めた。

※平成28年度利用校数 11校(平成27年度 9校) 利用点数 642点(平成27年度 866点)

- ・ 利用校に対するアンケートを実施し、ニーズに合った資料の充実を図った。

※アンケートの送付校数: 9校(平成27年度 7校)

施策	(3) 子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます
平成28年度実施状況	
<p>【市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員とボランティアの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども読書支援パック」にアンケートで要望が多かった「ユーモア絵本パック」1種類と、ブックリスト「あかちゃんを楽しむはじめての絵本」の活用ができるように、新たに「赤ちゃん絵本パックミニ」6種類を作成し、資料の充実に図った。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成28年度追加作成パック数 7種類 17パック(平成27年度 5種類 6パック) ※平成28年度末現在パック数 74種類 167パック(平成27年度末 67種類 150パック) ※平成28年度貸出件数(保育所・幼稚園・児童館) 208件(平成27年度 188件) ・ 児童館等職員やボランティアに対して、窓口やおはなし会後の読書相談に対応したり、リストを配布し情報提供を行った。 ・ 児童館等主催の子どもの読書に関する講座等へ図書館職員の派遣を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成28年度派遣件数 8件(平成27年度 10件) <p>(各館の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 地域の児童館や保育園に出向き、絵本選びの方法についての講演とおはなし会を行った。(若林) * 仙台市榴岡児童館と子育て支援クラブガーネット共催のママ・ココ・フェスティバルに参加し、手遊びや大型絵本の読み聞かせ、絵本の展示等を行った。(榴岡) <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所に対して除籍済資料の無償譲渡を行い、資料の有効活用に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成28年度提供数 7件 713冊(平成27年度 12件 714冊) <p>【子供図書室等で活動する、中高生による図書館サポーターの育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスと展示コーナーの設置を行い、また「YA中高生のページ」でも投稿された本の情報を紹介した。 <ul style="list-style-type: none"> ※平成28年度揭示件数 50件(平成27年度 32件) ・ 子供図書室で実施した「泉図書館YA図書委員会」では、図書館業務や絵本の読み聞かせの体験をしたり、本棚の一角をポップ等で飾り、本の展示を行った。様々な企画を通して図書館への理解と興味を引くことができた。 ・ 選書アドバイザーや選書サポーターが作成したブックリストを市内の中学校や高校に配布した。学校の図書室で見て、本の予約をしたという声もあり、中高生の読書支援に繋がっている。 <p>(各館の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「選書アドバイザー」によるブックリストの作成や選書に参加してもらうことで、YA資料の蔵書構成に10代の目線を取り込むことができた。また、参加者を通じて、図書館ホームページの「YA中高生のページ」をPRすることもできた。(広瀬) * 「選書サポーター」が作成したブックリストには、「YA中高生のページ」へリンクできるようにQRコードを掲載した。また、最終日には書架を装飾して本の展示を行ったところ、幅広い層の利用者が足を止め、関心の高さが窺えた。(榴岡) * YA図書委員会募集のポスターを、市内の中学校と高校に送付し協力を募ったところ、学校からの勧めで申し込みしてくれた生徒がいた。(泉) 	

施策 (4) 子ども読書を進めるために家庭、地域、学校などとの連携を深めます

平成28年度実施状況

【学校との連携の強化、協働による事業の充実】

- ・ パッケージ貸出と学校貸出を、資料の充実を図りながら継続して実施した。
 - ※パッケージ貸出利用校 74校(平成27年度 75校) 延べ貸出回数 155回(平成27年度 142回)
 - ※学校貸出校 延べ320校(平成27年度 延べ356校) 貸出冊数 15,786冊(平成27年度 16,449冊)
- ・ パッケージ貸出の「テーマ別パッケージ」に、現場からの要望が多かった小学校1年生国語の教科書に掲載されている読み物資料を集めた、「1年生国語読み物パッケージ」を作成した。
- ・ 教科書変更に伴う新たな学校貸出依頼に対応できる資料の補充を行った。
- ・ 公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。
 - ※図書館見学、調べ学習 受入校 74校(平成27年度 62校)
- ・ 図書館発行物(子どもの本の案内等)により学校への情報提供を行った。
- ・ 市立小学校に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。
 - ※譲渡先 17校 譲渡冊数 1,639冊(平成27年度 12校 2,026冊)
- ・ 市立小中学校全校を対象に学校連携事業に関するアンケートを実施し、学校の事業の要望を把握に努めた。
- ・ 図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施した。
 - ※利用校 141校(平成27年度 137校)
- ・ ブックトークで学校を訪問した際に、学校図書事務員との情報交換を行った。
- ・ 学校図書室担当者等向けの研修へ図書館職員を派遣した。
 - ※派遣件数 1件(平成27年度 4件)
- ・ ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。
 - ※利用校 32校(平成27年度 36校)
- ・ ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を実施した。講座により学校で活動するボランティアが増え、ブックトーク事業の充実につながった。
 - ※実施件数 2件(平成27年度 2件)

(各館の事例)

- * 小中学生の職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施した。(全館)
- * 適応指導教室の職場体験を受け入れた。(市民、若林)
- * 高校生の職場体験を引き続き行った。(広瀬)
- * 大学生の図書館実習を引き続き受け入れた。(宮城野、若林)
- * 高等専門学校のインターンシップを受け入れた。(若林)
- * 仙台市榴岡小学校の職場体験「弟子入り留学」で、4年生児童を受け入れ、図書館について理解を深めた。(榴岡)

【地域施設・ボランティアと連携・協働しての読書力向上】

- ・「子ども読書支援パック」にアンケートで要望が多かった「ユーモア絵本パック」と新たに「赤ちゃん絵本パックミニ」6種類を追加作成し、資料の充実を図った。
※平成28年度貸出件数(ボランティア等) 249件(平成27年度 261件)
- ・児童館等の職員やボランティアを対象とした、読み聞かせやストーリーテリングなど、子どもの読書に関する研修・講座を実施した。
※平成28年度実施件数 10件 参加者数 210人(平成27年度 9件 268人)
- ・読み聞かせボランティア養成講座終了後に、のびすくや児童館での読み聞かせの体験を実施し、ボランティア登録等その後の活動に結びつけた。
- ・ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会を積極的に実施した。
※平成28年度読書活動推進ボランティアの延べ人数 723人(平成27年度 725人)
- ・ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示紹介し、相互の情報共有を図った。
※平成28年度活動情報チラシ枚数 21枚(平成27年度 19枚)
- ・図書館を利用する機会の少ない子どもにも、本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫の資料の充実を図るため、文庫への貸出を継続して行った。
※平成28年度文庫登録数 24団体(平成27年度 26団体)
※平成28年度貸出件数 90件(平成27年度 78件)
※平成28年度貸出冊数 3,568冊(平成27年度 3,135冊)
- ・文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法や本の情報提供を行い、新刊案内等の広報紙を配布した。また、文庫との懇談会等を実施し、図書館との協力体制を継続して整えた。
- ・文庫やボランティアと連携して講演会や講座等の事業を行った。
※平成28年度実施件数 2件 参加人数 101人(平成27年度 2件 355人)

(各館の事例)

- * 毎月1回土曜日にボランティアグループの協力を得て「おはなしパーク」を開催した。(市民)
- * 原町児童館(のびすく宮城野)と共同でおはなし会「おはなしジャンプ」を開催した。(宮城野)
- * 毎月1回、ボランティア団体「おはなし てんとうむし」の協力を得て、おはなし会を開催した。(宮城野)
- * 仙台駅東エリアマネジメント協議会が主催する「エキヒガシセタ交流会」に参加し、出張おはなし会やワークショップを行った。(榴岡)
- * 駅東交流センターと協力し、相互に事業のPRに努めた。(榴岡)
- * 地域の手づくり市での出前おはなし会「ヤギさんおはなしかい」を開催した。(若林)
- * 若林区中央市民センター主催「ワカチュウ子どもランド」において、おてんとさんの会会員による「影絵おはなし会」を開催した。(若林)
- * 若林区中央市民センター、カワラバンと連携し、サケ稚魚の放流に合わせて「広瀬川から旅立つサケ～おはなしと工作～」を開催した。(若林)

平成28年度実施状況(続き)

【子供図書室を核とした、子ども読書を進めるための連携】

- ・ 図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会を作り、家庭・地域への情報提供等を行った。また、「花いっぱいになあ〜れ」(春)や「ラッキーブックをさがそう！」(秋)などを全館共通で実施し、本を借りるためのしかけや工夫を行った。
 - ※平成28年度「花いっぱいになあ〜れ」参加人数 11,951人(平成27年度 10,831人)
 - ※平成28年度「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 9,456人(平成27年度 7,884人)
- ・ 児童文学者講演会を開催し子ども読書活動を推進した。併せて中高生を対象にした「読書交流会」を開催し、読書への興味、関心を深めることができた。
 - ※児童文学者講演会「金原瑞人氏講演会」参加人数 116人
 - ※読書交流会 参加人数 7人(中学生)
- ・ 子育て支援施設のびすくと連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報紙配布、行事ポスターの掲示等、図書館利用拡大に向けた取り組みを継続して行った。
 - ※平成28年度のびすくでのおはなし会実施回数 7回 279人(平成27年度 8回 403人)
- ・ 図書館見学等の来館時に、園児や児童を通して、各家庭へ利用案内やおはなし会等行事のチラシ、子ども向け広報紙等を配布し、図書館利用拡大に繋がる広報を行った。配布した広報紙に掲載されている資料の問い合わせや、行事への参加があった。
- ・ 地域の保育所や幼稚園が、園外保育で来館する際に、希望に応じて臨時おはなし会を実施した。
 - ※平成28年度臨時おはなし会実施件数 3件 参加人数 75人(平成27年度 5件 95人)

方向性3 についての課題・改善策等

【妊娠期の親を含む乳幼児向けサービスの充実】

- ・ 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を活用し、すべての乳幼児が絵本と出会う機会を持てるための取り組みを検討する。

【学校との連携強化による読書力の向上】

- ・ 教育現場の需要に合わせた資料提供に努めるとともに、学校貸出図書配送サービスの導入により一層の利用促進を図る。

【ヤングアダルト世代に向けたサービスの充実】

- ・ ホームページに加えて SNS を活用した広報を検討し、中高生への発信力を高める。

【家庭・地域と連携して取り組む読書活動の推進】

- ・ 生涯学習課と協力し、「家読^{うちどく}」の活動を広めるための事業に取り組む。

施策

(1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

平成28年度実施状況

【計画的な資料の収集、保存、活用／資料収蔵方針の作成と収蔵スペースの確保】

- ・ 集中選書会議を継続して実施し、専門書や高額資料の購入について調整のうえ、各館の分担収集分野に応じて配置することにより、図書館全体として資料の充実を図った。
- ・ 資料収集方針、資料取扱基準を整備した。(資料収集方針は、図書館ホームページより閲覧可能とした)
- ・ 書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースし、内容の古くなった資料は随時、開架から書庫に移動し、魅力的な書架の提供に努めた。
- ・ 除籍資料を有効活用するための譲渡会を継続して開催するとともに、除籍後の有効活用について、譲渡先団体の拡大等、より効果的なあり方について検討した。

(各館の事例)

* 分担収集の概要

- ・ 郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料(市民)
- ・ 文学関係資料(宮城野)
- ・ 農業・園芸関係資料(若林)
- ・ 健康・医療関係資料(太白)
- ・ 児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料(泉)

* 狭いスペースを有効利用するため、一部を文庫本に入れ替え、資料の充実に努めた。(榴岡)

* 閉架書庫に書架を増設し、資料収蔵スペースの確保に努めた。(若林)

* 市民の共有財産である図書館資料の取り扱いについて、汚破損資料から認識を深める展示を実施した。(宮城野、若林)

* 市内の老人福祉施設に高齢者向け図書・雑誌をパックにした有効活用資料を譲渡した。(市民)

施策

(2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

平成28年度実施状況

【図書館サービスの広報、図書館像の共有】

- ・ 行事開催の案内等を市政だよりやフリーペーパーなどに掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。
- ・ 多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加等により、図書館サービスについての情報を発信した。

(各館の事例)

- * JRや地下鉄の駅に、図書館の新刊案内やイベントポスター等を掲示し、広報に努めた。(広瀬、宮城野、太白)
- * メディアテーク1階オープンスクエアでのイベントを実施し、多くの来館者に図書館資料を紹介した。(市民)
- * 複合施設の市民センターと協力して各種イベントに参加するなど、図書館利用者以外への広報に努めた。(広瀬、宮城野、若林、太白)
- * 「宮城地区まつり」や「天文台まつり」に参加し、おはなし会を実施して図書館のPRにつとめた。(広瀬)
- * 「みやぎの・まつり」に参加し、図書館のブースを設け、図書館の広報紙の配布やワークショップを行った。(榴岡)
- * 若林図書館のキャラクターを募集し、利用者の投票により選出した。(若林)
- * 上映会通信「映画のハナシ」の発行を開始し、視聴覚資料等の利用促進と情報提供を行った。(若林)
- * 「ばど」とみいず!」など地域密着フリーペーパーに講座の案内を掲載し、広報に努めた。(泉)
- * 「大人のための太白図書館バックヤードツアー」を実施し、館内の案内や図書館業務等について紹介した。(太白)

【市民が参画する読書・情報活動の支援、市民との協働によるこれからの図書館づくり】

- ・ 対面朗読ボランティアスキルアップ講座等、図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。
- ・ 読み聞かせボランティア養成講座を修了した参加者に、活動の場を提供する試みを実施した。
- ・ 館内にポスターを掲示して図書館ボランティアの募集を行い、新たなボランティアの確保に努めた。
- ・ ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。

(各館の事例)

- * ボランティアによるおはなし会を実施した。(各館)
- * 本の修理や返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。(市民、宮城野、若林、太白、泉)
- * 「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働による「おはなし会リレー」を実施した。(広瀬)
- * 読書会事業を継続して実施し、参加者が選書した資料を「広瀬図書館まつり」で「読書会の本棚」として展示。(広瀬)
- * 活動中のボランティアの見学や情報交換の場を持ち、新たな参加を促した。(宮城野)
- * 自主的な読書会を開催している団体のポスターを関連図書の本棚に掲示するなど、活動を支援した。(宮城野)
- * 仙台駅東口界隈の活性化を支援する団体が主催する図書館活用についての講座へ講師を派遣した。(榴岡)
- * 仙台市榴ヶ岡市民センター主催事業「はたらく大人のちょこっと夜活」へ講師を派遣し、本の紹介を行なった。(榴岡)
- * ボランティアの協力によりビブリオバトルを開催した。(若林、泉)
- * ボランティアと職員等で「おすすめの本」のポップを作成し、読書週間に本とともに展示した。(泉)
- * 独自に「読み聞かせボランティア養成講座」を開催し、ボランティアの育成と実践の場(定例おはなし会、新寺こみち市でのおはなし会)を提供し、協働を促進した。(若林)

施策	(3) 図書館資源を適正に配分し有効に活用します
平成28年度実施状況	
<p>【システムやサービスのあり方の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期図書館コンピュータシステム更新に向け、総合評価一般競争入札を行った結果、現行の日本電気(株)から(株)富士通マーケティング東北支社へ事業者が変わり、現行システムを引き継ぐ新たな図書館情報システムの設計・開発・運用保守業務についての契約を行った。 ・ 榴岡図書館の平成29年度からの第2期指定管理者制度導入に向け、指定管理者の公募、選定を行い協定書を締結した。 ・ 雑誌スポンサー導入の検討を開始した。 <p>【ICタグの計画的な導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容の見直しにあたっては、資料の適正な管理の観点から、費用対効果も踏まえ、引き続きICタグ関連機器の設置の可能性について検討を行った。 	

施策	(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います
平成28年度実施状況	
<p>【新たな評価方法の導入／市民による評価や意見の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業が、地域や市民にどのような効果をもたらしたのか図書館が点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から図書館の自己評価等に対する意見を付けて報告書としてまとめ市民に公表した。 ・ 市民の意見や要望を把握し、市民に対してよりよいサービスが提供できる図書館経営を行うため、利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。 ・ 全館に意見箱を設置し、利用者の意見を聞く機会を設けた。 ・ 図書館を利用していない人の意見を聞くため市政モニターアンケート調査を実施した。 ・ 指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページで公表した。 ・ 寄せられた意見、要望に応じて可能な改善を試みた。 <p>(各館の事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「図書館の自由」の館内入口への掲示、テーマ展示へのリクエスト対応(市民) * DVD タイトル一覧作成、購入雑誌の追加(広瀬) * 利用者マナーの表示追加(宮城野、榴岡) * 利用者への声かけ、館内照明の改善(若林) * 椅子等の配置換えによる利用の改善(太白) * フリーペーパーの設置(泉) 	

施策 (5) 図書館職員の資質の向上に努めます

平成28年度実施状況

【障害者サービス、児童サービスなどのスキルアップ】

- ・ 障害者サービスに詳しい外部講師による研修を実施した。
- ・ 児童サービスに関する専門知識を身につけるための職員研修として、ブックトーク研修を実施した。
- ・ 図書館の専門家による児童書の選書に関する研修を実施した。
- ・ 関連する各種研修に担当職員が参加し、研鑽に努めた。

(各館の事例)

- * 図書館におけるハンディキャップサービス、児童サービス、YAサービスに関する指定管理者主催研修に参加した。
(広瀬、若林)
- * ブックトーク、手あそび等をテーマとする各種の外部研修に参加した。(広瀬)
- * ユニバーサルデザインを念頭に、効果的なチラシ、ポスター制作の研修を実施した。(若林)
- * 全国図書館大会東京大会の障害者サービス分科会に担当職員を派遣した。(太白)
- * 仙台市主催の「障害者差別解消研修」に「発達障害講座」担当職員が参加した。(太白)
- * サピエ研修会に担当職員が参加した。(宮城野)

【専門性と経営能力を備えた職員の養成】

- ・ 国立国会図書館、日本図書館協会、北日本図書館連盟等の専門機関等の実施する研修に参加した。

(各館の事例)

- * 北日本図書館連盟の研究協議会に参加した。(市民)
- * 公共図書館のマネジメントクラスを対象として、リーダーシップ力の強化などを目的とする指定管理者主催研修に参加した。(広瀬)
- * レファレンスの実践的なスキルを向上させることを目的とした指定管理者主催研修に参加した。(広瀬)
- * 国立国会図書館レファレンスデータベース研修に参加した。(宮城野)
- * 国際子ども図書館の児童文学連続講座に参加した。(宮城野)
- * 文化庁、宮城県教育委員会主催の著作権セミナーに参加した。(若林)
- * 未来の図書館研究所シンポジウム「図書館のゆくえ—今をとらえ、未来につなげる」に参加した。(若林)

- ・ 専門機関等から講師を招き、各種研修を実施した。

(実施事例)

- * 図書館と出版社、書店等の連携について
- * 読書のユニバーサルデザインについて
- * SNS等の広報戦略等
- * 郷土資料を中心としたレファレンス
- * 「安心・安全な図書館」を目指した防犯訓練

方向性4 についての課題・改善策等

【資料の適正管理と保存のあり方の検討】

- ・ 資料収集方針に基づき各図書館における分担収集・保存を進めるとともに、資料の電子化やデータベースの活用等による保存手法の調査検討を進める。
- ・ IC タグによる資料管理の費用対効果の検証と、それに代わる盗難防止策を検討していく。

【市民協働による図書館づくり】

- ・ 図書館の現状や今後の取り組みなどを広く発信するとともに、市民が自主的、積極的に図書館の事業に参加できる企画や環境づくりを進める。

【図書館職員の資質向上】

- ・ 文字活字資料に加え新たな電子資料など多様な情報に関する専門知識を持つ職員の養成。
- ・ 長期的視野に立った専門性と経営能力を備えた職員の養成。